

空調関連部材の総合メーカー、桃陽電線(社長 奥田康信氏、本社・大阪市天王寺区石ヶ辻町18-22)の名古屋営業所(所長 小椋竜也氏)が4月27日付で新築移転して4カ月が経過。営業エリアにおける物件動向と相まって中部圏の営業拠点としての機能を発揮している。

所在地は愛知県春日井市美濃町1-149(電話0568-13515061)。旧住所(愛知県春日井市如意申町5-2-15)から

は、「敷地面積、倉庫スペースなど旧事務所と比べて2倍の規模となり、在庫機能も大きく拡充強化された。弊社ではご注文を頂いて原則翌日配送としているが、在庫機能が強化された分、翌日配送できる範囲が広がり、迅速に対応できる体制が整った。リフトの導入に



小椋 竜也所長

中部圏拠点として 機能発揮

桃陽電線
名古屋営業所



名古屋営業所新社屋の外観

新築移転4カ月
ニーズに迅速対応

よって動線の確保がしやすくなり、作業効率があがり、作業効率が向上。倉庫は空調も

しっかりと整備されているので快適な作業環境を実現できている」と話す。

名古屋営業所は東海3県(愛知・岐阜・三重)を中心に東は浜松北は長野の一部から北陸まで中部経済圏の要衝を営業エリアとする。「名古屋市内では栄の再開発、北陸では金沢・敦賀間の北陸新幹線延伸開業が2024年に予定され、エリア内では市況の活性化が見込まれている。当営業所も8月11日付で1名増員され、5人体制となった。新社屋は外観も非常にいいので採用面での効果も期待できそう。精一杯お客さま価値の拡大に努め、近い将来、7人体制に持っていきけるよう頑張りたい」と小椋所長は力を込める。